

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜時	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜時
経済開発論Ⅱ	<秋>		ECON2535	月1					

【教員氏名】

望月 和彦

【単位数】

2 単位

【授業形態】

『講義』

【講義・演習概要】

本講では、欧米諸国の経済発展の歴史を振り返り、今日的な大量生産社会がどのような経緯で成立したかについて論じる。次に大量生産社会の成立によって発生した資源・エネルギー・環境の諸問題を論じ、最後にこれからの経済発展にとって致命的に重要とも言える人口にまつわる諸問題を扱う。

【学習（到達）目標】

経済発展の歴史のプロセスを理解し、さらにこれからの経済発展のために解決しなければならない問題についての知見を得る。これらの学習を通して本学の教育の目標である「世界の市民の養成」に則り、世界の市民にふさわしい知識と判断力を涵養する。

【講義・演習計画】

- 第1回：導入 本講の基本的考え方
- 第2回：エネルギー革命としての産業革命
- 第3回：第2次産業革命
- 第4回：大量生産方式の出現
- 第5回：大量生産社会のもたらす問題 経済成長への制約？
- 第6回：資源問題
- 第7回：環境問題
- 第8回：人口の意義
- 第9回：人口動態
- 第10回：人口増加の抑制因
- 第11回：人口転換
- 第12回：人口と経済発展
- 第13回：出生率の経済学
- 第14回：少子高齢化社会の衝撃
- 第15回：まとめ

【成績評価の方法】

試験評価：70% レポート：30% その他：0%
 成績評価は期末テストとレポートで行う。テストでは講義の内容を理解しているかを計るとともに内容から自分で問題を組み立てることができるか、それに自分で適切に答えることができるかを見る。レポートは講義の内容に即したテキストを指定し、その内容についてこちらからの質問に答える形式となる。

【事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 事後学習 30 時間）】

- 事前学習：授業中に配付するリーディングリストの文献の学習
- 事後学習：授業内容の復習、レポート作成